

令和3年度 第1回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	令3年8月23日
招集場所	日南町役場 第2会議室
開 会	午後3時 教育長
出席委員	中村町長 青戸教育長 西村教育委員 山脇教育委員 中村教育委員 中島教育委員
欠席委員	なし
オブザーバー	丸山副町長、木下総務課長、村上教育次長、吹野日南中学校長、吉田日南小学校長、山本保育園長、段塚課長、三上専門監、福田室長、三上室長、長谷部参事

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
1 開会 挨拶	教育長 町長	開会 明日から中学校、あさってからは小学校が始業式を迎え、2学期が始まろうとしている。本日は第1回総合教育会議ということで、新しい教育長を迎えて行う。昨年度は、これからの教育に向けて答申をいただいた。その具現化に向けた取り組みを行うのが今年度だと思っている。今年度、5月、7月に小中学校を訪問させていただいた。順調な授業風景であった。最近、子どもたちへの新型コロナウイルス感染が広がっていて心配をしている。対策を徹底して2学期をスタートしていただきたい。
2 協議 ○1学期の保育園・小中学校の様子について	教育長 山本園長	○1学期の保小中学校の様子について まず、保育園、小中学校から1学期の様子について話していただきたい。 日々、感染対策をしつつ保育をしている。プール熱などが流行した時期があったが、今は元気になっている。石見保育園は、林業アカデミーとの連携でまきわり体験をさせていただいた。そのまきはキャンプファイヤーに使った。山の上保育園では、地域との交流を主とし、りんごの収穫、牛舎の見学等を行っている。にちなん保育園では、今年度、異年齢保育に取り組んでいるが、コロナの状況により交流の機会が減っている。3園の交流は行っている。

○コミュニティ・スクールについて	吉田校長	今年度は「つながり」をキーワードとしている。まず、仲間とつながること。そのために、学級力を高め、学級の仲間づくりに力を入れている。次に地域とつながること。「日南学」を中心に、CSサポーターの方々に支援していただきながら、すすめている。最後は、未来とつながること。将来の自分に向かって努力していくことである。3者懇談をもち、家庭と学校が同じ目標をもって進んでいくようにしている。
	吹野校長	学校全体は落ち着いている。中学1年生も中学になって気持ちを切り替えてがんばっている。コロナの影響で行事がなかなか実施できないが、すべてを中止にするわけではなく工夫して取り組んでいる。健康フェスティバル、校内合唱、校内マラソン等、力を発揮できた。部活動の活躍もあった。中3については、進路を意識して頑張っている。また、林業アカデミーに支援していただき、森林学習にも取り組み始めている。
	教育委員	子どもたちの自死が多いのが2学期。コロナによって人との関わりが不足している。明日の始業式に向けて確認してほしい。子どもたちへの目配り、気配りをお願いしたい。
	吹野校長	生徒は、毎日部活で見かけている。3年生は、体育祭の準備で登校しているので、姿は見かけている。今まで以上にアンテナを高くして情報共有したい。
	吉田校長	気になる子どもについては、盆明けから声かけをしている。会も開いて、チームで情報の共有をしている。
	教育委員	盆の帰省について、町外に帰省した子どもの確認はよいか。
	吉田校長	個々の確認はしていないが、まちコミメールを使って検温の記入はお願いし、体調の変化がないかを確認している。
	吹野校長	県外への帰省の把握はしていない。部活の際の体温の記入は行っている。
	教育長	県外への移動について把握しておいてもらいたい。
	教育長 事務局 町長	○コミュニティ・スクールについて *資料により説明 コミュニティ・スクールについて、全体的には進んでいると思っている。講演会、視察等がコロナの影響で延期となってしまったが、できる体制の中で行っていただきたい。計画通りになんとか実施し

教育委員 教育長	<p>てほしい。</p> <p>組織図について、園も入れて学校運営協議会とする意図は何か。</p> <p>保小中一貫の体制を構築していきたい。定員をもう少し増員して、18名ぐらいにしたい。保護者を増やしたい。コミュニティ・スクールは会議体ではなく、協働体でないと成功しないと聞いたことがある。学校運営協議会が立ち上がれば、各部をつくって、その部で何ができるかを話し合っ取り組んでいただくように考えている。めざす子ども像に向かって、PTAとしても何ができるかを議論していきたい。「PTAは何をしているか」といった声が多い。他県では、「PTA 部会」をつくったり、地域との「関わり部」をつくったりしているところがある。</p>
教育委員 教育委員	<p>PTAを増員するのはいいが、あて職は考慮した方がよい。やる気のあるPTAにやってもらいたい。</p> <p>現在のPTAは、あて職で成り立っているので、本当にやる気のあるPTAでやってほしい。地域の方だけでなく、PTAも頑張らないといけない。</p>
教育委員	<p>コミュニティ・スクールは、人づくり、地域づくりである。自主的に取り組んでいくことが大切。イメージ図、組織図の中でPTAがどう位置づけられるか。今年度、石見地区で取り組もうとしたが、コロナの影響で実施できなかった。話し合いが難しかった。地域づくり、人づくりは教育委員会だけでは無理がある。</p>
町長	<p>現代は、親の生活時間が窮屈だと思う。子どもの成長に合わせて誰かがフォローすることが必要である。子ども中心に視点をうつすことだ大事。林業アカデミーの支援は、1つのねらいの実現であると思う。親も少し関わっていくことが大切。子どもがやりたいことに挑戦させていくこと。人づくりは誰かに任せるのではないということ。</p>
教育委員	<p>人材確保が難しい。なぜ、確保が難しいか。まち（むら）協の5か年計画にコミュニティ・スクールが協議されたり、意識されたりしているか。</p>
町長	<p>5か年計画に子どもとの関わりを入れている地域もあった。これから広げていけばよい。いろいろなやり方があっていい。福栄の子どもは、福栄以外の地域に出かけてもいい。</p>
教育委員 教育長	<p>土地のつながりだけでなく、人と人とのつながりが大事だと思う。</p> <p>子どものために何をしてやればいいのか、悩んでおられる地域の方がいらっしゃる。思いをもってお</p>

○認定こども園について	教育委員	られる方はたくさんいらっしゃる。コミュニティ・スクールは、子どもたちのために、〇〇をしてやりたいと言える組織でありたい。そういう意味で商工会、森林組合の方々も入っていただきたいと考えている。ボランティアは、最終的には、NPOにかかわらず組織体を立ち上げたい。例えば、西栗倉のボランティア「ネッツ」というのがある。「ネッツ」は、ボランティア以外にも図書館の運営についても関わっているそうだ。本町も、放課後児童クラブに高校生が来てくれていた。
	町長	かつて、ボランティアをお願いするのが、困難なところがあった。NPO 法人というのは、1つの方法かなと思う。
	教育委員	NPO 法人は、寄付行為が基にある。リーダー的役割を担う人材が必要。情報発信が大事。できれば若い方がよいと思う。また、義務教育学校については、まだイメージがつかめていない。子どもにとってどうなのか、もう少し勉強してみたい。
	教育委員	教育在り方検討会で議論があるかと思っていた。これに向かわざるを得ないのではないかと思っている。将来は、ここに向かうのでは。
	教育委員	保小中一貫の形は大事にしたい。子どもたちに寄り添った教育ができたらよいと思う。
	教育委員	無理に義務教育学校にしなくても、めざす子ども像があれば、それに向かって保小中それぞれが取り組んでいけばいいのでは。
	町長	もう少し、他町の成果等を見てから考えても遅くはないと思っている。一番大事なのは、子どもの成長にどう関わっていくか。メリットもデメリットもどちらもあると思う。
	教育長 事務局	○認定こども園について *資料により説明
町長	事務的な話は順調だと把握している。子育て支援センター的機能についての考え方、内容について考える余地はある。どのような形であればいいのか、改めて考える必要がある。教育と福祉の分かれ目も必要なので、今の形になった。これから、時代も変わったので検証していく必要があると思っている。4月から認定こども園になるので分園をどうするか、また、〇才になったら、にちなん保育園に通うとか、いろいろなやり方はあると思う。保護者に丁寧に説明し、意見を求めることをやってほしい。	

4 挨拶 閉会	教育長	園舎の建て替えをしてもらいたい気持ちがある。
	教育委員	教育環境ということを考えると、現在の場所でよい。まずは、理想を唱えてもよい。土地は造成すればあると思う。
	教育長	複合的な施設として考えていきたい。
	教育委員	総合グラウンドを教育ゾーンにすればよい。
	教育委員	本町の教育の中で、建物がどうあるべきか。現在の場所は、防災の点で非常に危険があると思う。
	教育委員	認定こども園のことは分からない。保育と教育ができますと言われても、どういうことなのか。
	教育委員	カリキュラムの違いだと思っている。本町は、待機児童もいないし、メリットが感じづらい。保小中一貫になるので、認定こども園になったのは分かる。ただ、保護者にとって実感できるかどうか。
	町長	教育は時間がかかる。幼稚園的な部分はこれから必要だと思っている。それによって、小学校のスタートダッシュがよくなるのではない。保育の中から、遊びを通していかに学びにつなげていくかが大切だと思う。
	教育委員	保小中一貫の考え方はよく分かった。
	教育委員	子育てに悩んでいる保護者はおられる。子育て支援の機能が本当に発揮されるか。
教育長	保健師とうまくタイアップして、認定こども園の園児に関わっていくことが必要だと思う。	
教育長	では、最後に副町長、総務課長よりお話を伺いたい。	
副町長	熱心に皆さんが協議され嬉しく思う。仕組みが変わるときは、大変なことがたくさんある。子どもの姿を中心に据え、今後も協議していただきたい。本日はありがとうございました。	
総務課長	コミュニティ・スクールの目的は、地域づくり、人づくりだと改めて感じる事ができた。地域づくりのために人をつかうことが重要、社会教育も含めて、みんなが関わっていけたらと思う。本日はお疲れ様でした。	
教育長	本日はありがとうございました。 以上で令和3年度第1回総合教育会議を閉じます。	

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員